



関東支部 第142回(2019年度)研究大会・総会のご案内

外国語教育に関わる者が学ぶべき教養とは？

英語学・英文学・第二言語習得・言語テスト論の視点

会員・関係者各位

新年度が始まり皆様のお仕事も一段落した頃でしょうか。

外国語教授・学習の分野においては、岡倉由三郎をその嚆矢として教育内容の「実用 vs 教養」という議論が絶えずなされてきました。各学校で外国語教育に携わっておられる先生方も、日々「外国語の実用的な側面」と「外国語の教養的な側面」のバランスについて色々とお考えになっていることと思います。

一方で、外国語教師が身につけるべき知識・技能においては「実用 vs 教養」という議論がそれほど十分になされてきたとは言えません。外国語教育をより充実させていくためにも、外国語教育の親学問や基礎研究として、英米文学・英語学といった近隣諸分野の方法やアプローチを、実用教養の両側面から今一度学び直すことが重要なのではないのでしょうか。

初等中等教育に携わっておられる先生方におかれましても、英語の免許科目に含まれる場合も多い、諸分野の最新の知見をまとめて聞ける貴重な機会になるのではないかと考えておりますので、奮ってご参加ください。

2019年6月

外国語教育メディア学会  
関東支部長 見上 晃

記

- 主催** 外国語教育メディア学会(LET)関東支部  
**共催** 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター  
**後援** 東京都教育委員会(申請中)  
**期日** 2019年6月15日(土曜日)  
**会場** 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎  
<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/>  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1  
東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車「出口1」徒歩約5分

外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目1-430-1  
常磐大学 (人間科学部 千葉敦研究室)  
電話: 029-232-2511  
E-mail: kanto-office@j-let.org

## 時 程

9:30 ~ 受 付

1 階ロビー

10:00 ~ 15:00

134 教室 ・ 1 階ロビー

### 賛助会員展示

134 教室および 1 階ロビーでは、ブースを設けて賛助会員による展示を行います。

10:00 ~ 12:15

134 教室

### 研究発表・実践報告 1

司 会 入江 潤（明星学園小学校）

10:00 ~ 10:30 ① 実践報告

「AI を活用した E-Learning 教材と講義例の紹介」

穴戸 真（東京電機大学）

10:35 ~ 11:05 ② 実践報告

「日本人 EFL 教室におけるオンライン学習ツール・アプリ  
の活用と語彙習得と学習意欲」

長岡 穂（東京工業高等専門学校）

11:10 ~ 11:40 ③ 研究発表

「AI 翻訳機: その文法特性と限界を克服する教授法」

田淵 龍二（ミント音声教育研究所）

11:45 ~ 12:15 ④ 研究発表

「小学校 1 年生からの英語学習経験は高校 3 年生の時点で  
有利に働くのか」

黒川 智史（東京大学大学院生）

## 研究発表 2

司 会 跡部 智 (慶應義塾普通部)

- 10:00 ~ 10:30 ① 研究発表 (2016 年度研究支援プログラム 最終報告)
- 「リーダビリティ、語彙レベル、発話速度を手がかりとして、日本人学習者のレベルにあった英語字幕付き動画を調べ出すウェブ検索システムの開発(最終報告)」
- 山口 高領 (秀明大学)  
田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)
- 10:35 ~ 11:05 ② 研究発表 (2015 年度研究支援プログラム 最終報告)
- 「体育大学生を対象とした ESP 教材の作成報告」
- 大和久 吏恵 (日本女子体育大学)  
カレイラ松崎 順子 (東京経済大学)
- 11:10 ~ 11:40 ③ 研究発表 (2017 年度研究支援プログラム 成果報告)
- 「言語教育への利用を目指した遠隔日本語談話の質問研究」
- 吉田 睦 (国際基督教大学)
- 11:45 ~ 12:15 ④ 研究発表 (2017 年度研究支援プログラム 成果報告)
- Comparing Experiences of University Students Attending EMI Classes in Two Universities in Japan
- SUGIMOTO, Sayaka (Waseda University)

LET は 英語教育だけでなく、あらゆる外国語教育について最先端の理論とそれに基づいた実践方法を探究する学会です。言語理論、学習理論、認知心理学、脳科学などの基礎理論研究から、教授法や教材開発、学習アプリ開発、SNS 利用、モバイル活用に至る教育工学を含みます。研究発表、実践報告、シンポジウム、賛助会員(企業)プレゼン、様々な研修会などを1年を通して開催しています。もっと効果的で魅力的な授業にしたい、生徒のやる気を高めたい、など授業改善を求めるあらゆる学年の外国語教員にお勧めです。この機会にご同僚やお知り合いをご紹介ください。

## お昼休憩

- ・ 近隣のレストラン等を利用するなど、昼食は各自でお済ませください。
- ・ 134 教室で昼食をとっていただいても結構です。
- ・ ゴミは当会が用意したゴミ袋に捨てるようにして下さい。

## 賛助会員交流セッション

- ・ 賛助会員と質疑応答・交流を行う時間です。
- ・ 134 教室後方およびロビーの展示ブースにぜひお立ち寄りください。

## ポスター発表(コアタイム)

ポスターの展示時間は 10:00~15:00

- ① 「CALL や MALL を用いたスピーキング・アクティビティにおける大学教員の効果的役割に関する考察」

古谷 裕美 (中央大学)

- ② 「韓国の子ども英語図書館」

カレイラ松崎 順子 (東京経済大学)

- ③ 「Moodle を活用した日本語プレイスメントテストの開発:現場に有用なツールとしての Moodle 利用」

武田 雅史 (東京国際大学)

- ④ (2018 年度研究支援プログラム 成果報告)

「教室における教師と学習者の関係性:動機づけに着目して」

末森 咲 (お茶の水女子大学)

## 総会・開会の挨拶

司会 小野 雄一 (筑波大学)

会場校挨拶 久保田 章 (筑波大学)

LET 関東支部長挨拶 見上 晃 (拓殖大学)

## シンポジウム:外国語教育に関わる者が学ぶべき教養とは？

司会 小野 雄一 (筑波大学)

外国語教育研究は100年余りを経て着実に発展を遂げている。一方で、その発展の宿命として学問分野が細分化され学会自体が蝸壺化されてしまっている面も否めない。「外国語教育」という複合語を見れば分かる通り、この学問分野は生来的に複合領域であると言える。交流が乏しくなっているが、これを考えるための重要なキーワードは「学際性」であろう。研究に取り組む際には、眼の前の現象にのみ気を取られるのではなく、複合的な視点を持つことが肝要なのではないだろうか。そうは言っても、他分野の学会に参加するのは敷居が高いうえ、何から学べば良いのかも分からない。

今回は、外国語教育に関わる諸分野の第一線で活躍されている先生方にお集まりいただき、それぞれの分野における研究動向や、それぞれの分野からみた教師が身につけておくべき知識・技能についてお話しいただく予定である。1度限りのシンポジウムでこのような大きなテーマを完結させることは容易ではないが、今回のシンポジウムを皮切りに、学会や分野をまたいだプロジェクトや共同研究に結実していくのであれば幸いである。また、普段研究に携わられない先生方におかれましても、このシンポジウムは教師としての幅を広げて頂く機会になると考えている。

## 英語学

### 日英対照から考えることばの働き:言語使用の三層モデルについて

講師 廣瀬 幸生 (筑波大学)

日英語を比較対照することで、日本語からだけでは気づきにくいことばの働きや仕組みに理解を深めることができる。そのための方法論を提供する理論的枠組みとして、言語使用の三層モデルという考え方を紹介し、外国語教育への意味合いについても触れたい。

14:30 ~ 15:00

## 英文学

### 教養の中の实用と实用の中の教養： 英語教育における实用対教養の二項対立を超えて

講師 斎藤 兆史 (東京大学)

实用英語、教養英語のいずれを教えるべきかとの議論は英語教育論争の大きなテーマであったが、日常的な言説の中には多くの教養的な言及があり、教養的な英語のなかにも実用的な要素が含まれている。拙話では、その二項対立を解消するための視座を提供したい。

～ 休憩 (ぜひこの機会に講師の先生方との交流を深めてください) ～

15:30 ~ 16:00

## 第二言語習得論

### コモンセンスを培うための第二言語習得研究： 認知的アプローチから

講師 鈴木 祐一 (神奈川大学)

本講演では、認知的アプローチによる第二言語習得理論に着目し、著者の行っている実証的研究の一部を紹介する。その上で、外国語の習得のメカニズム・プロセスを理解することと教育実践がどのように交わるかを議論し、第二言語習得研究の魅力について語る。

16:00 ~ 16:30

## 言語テスト論

### 言語評価リテラシー: 学習のための評価を目指して

講師 平井 明代 (筑波大学)

教育・入試改革で評価の重要性が増してきている。教師にどのような言語評価リテラシーが必要か、どのようなテストや評価が、学習のための評価に繋がるのか、授業での疑問を解決するために取り組んだ分析や評価例から考察していきたい。

16:40 ~ 17:20

## ディスカッション

### 外国語教育に関わる者が学ぶべき教養とは？

司会 小野 雄一 (筑波大学)

ディスカッションの時間です。フロアからの活発な議論をお待ちしております。

17:20 ~ 17:30

134 教室

## 閉会の挨拶

LET 関東支部副支部長 下山 幸成 (東洋学園大学)

18:00 ~ 20:00

ラ・クローチェ

## 懇親会

大会終了後、発表者や賛助会員、他の参加者との懇談の場として懇親会を開催します。事前のご予約を基本としますが、当日若干の募集を行なう場合もございます。ご予約は弊社 HP からお願い致します。会費は一般4,000円、学生2,000円です。学生の方は、在学証明書類を受付にてご提示ください。



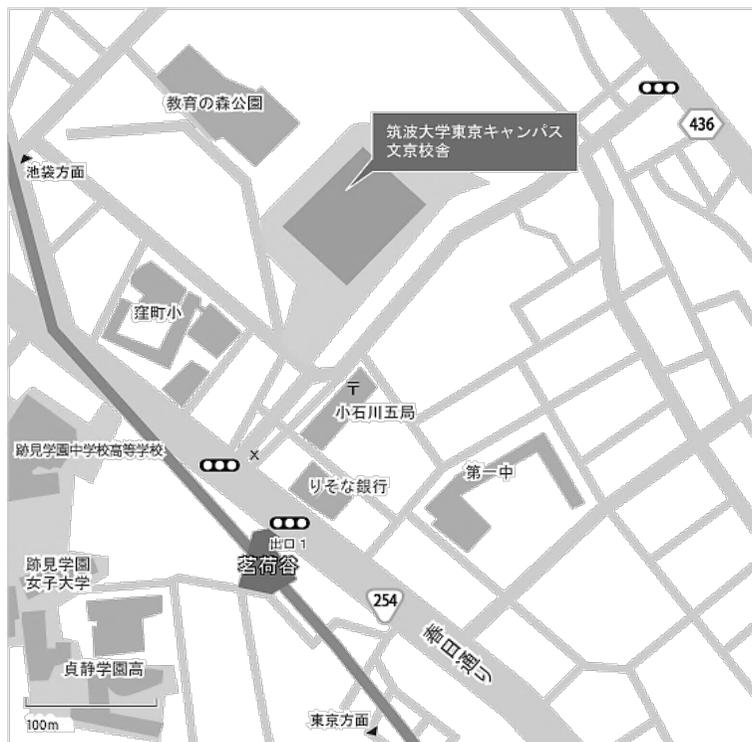
東京都文京区小日向  
4-7-10 2F

(茗荷谷駅「出口2」からすぐ)

Tel: 03-3944-7878

## アクセスマップ

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学東京キャンパス  
東京メトロ 丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車「出口1」徒歩約5分



<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/location/>より

### 参加者へのお願いとご案内

- 1) 参加費について
  - <会 員> 参加費は無料です。
  - <団体会員> 各団体につき1名が無料で参加できます。  
2人目からは1,000円をお支払いください。
  - <非 会 員> 1,000円(資料代) 学生も同額です。  
※筑波大学関係者(小中高大教職員・学生・院生含む)は無料です。  
受付の際に身分証明書をご提示ください。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 18:00 から 20:00 にラ・クローシェにて懇親会を行います。是非ともご参加いただければと思います。会費は一般4,000円、学生2,000円です。受付時にお支払いください。